



賢く 優しく 逞しく

本校URL <http://musashimurayama.ed.jp/mmced5c/>

6月号・令和6年6月5日発行
武蔵村山市立第五中学校

「読書」のすすめ

校長 榎戸 千代子

6月になり、「梅雨」の季節を迎えました。ちょうど梅の実が熟す頃で、農作物にとっては恵みの雨となります。長く降り続くこの時期は、室内でゆっくり「本」を読んでみるのもおすすめです。



全国学校図書館協議会の令和5（2023）年6月の学校読書調査によると、昨年5月1か月の平均読書冊数は、小学生（4～6年）12.6冊、中学生5.5冊、高校生1.9冊です。一方、不読者（0冊）の割合は、小学生（4～6年）43.5%、中学生13.1%、高校生7.0%だったそうです。この調査は、全国のサンプル校による抽出の調査ではありますが、読書の傾向が分かります。最近は、ゲームや動画視聴などに時間を費やしている小、中学生が増えていて、活字本を手にする機会が減っています。そこで、本校では読解力や思考力、表現力を身に付けるため、始業前に「朝読書」を実施しています。昨年度から、一人年間5冊以上は読破しようと目標を決めて取り組んでいます。

東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所の共同研究（令和5年11月9日、読売新聞記事）によると、小学校入学前に保護者から読み聞かせをしてもらっていた子供は、その後も読書時間が長いことが分かりました。幼少期の早い時期から読書習慣を身に付けることが重要と分析しています。また、中学生までの読書時間と成績との関係では、成績上位者ほど読書時間が長いという調査結果も出ています。様々な本と出会って心豊かに成長してもらいたいと思います。

走った！ 跳んだ！ 力を合わせた！ 「第45回 運動会」



6月1日（土）に「第45回運動会」が行われました。今年度は、コロナ禍前に行われていた入場門からの入場行進を復活させました。吹奏楽部の生演奏に合わせて、3年生の実行委員の色旗とクラスのプラカードを先頭に、縦横そろった行進は、美しく、力強く見えました。また、全校が5学級にそろったので、従来の学年別学級対抗だけでなく、縦割りの色別対抗も加わりました。運動会の全学年練習では、色別に3年生の代表生徒が、1、2年生の学年種目の練習の様子を見て、コツや作戦を教えるなど、縦割りの交流も行いました。

当日、子供たちは、悔いを残さないように「全力」で取り組み、仲間たちの演技を一生懸命応援しました。また、団体種目では、皆で力を合わせ、「団結、協力」することができました。特に、3年生の「おかで競走」は今年も一糸乱れぬ足裁きで競い合い、ゴールを目指す姿は圧巻でした。遅れをとったクラスを早く終わった生徒が皆で応援する姿も素敵でした。毎年、五中の良き伝統が受け継がれています。最後の代表生徒による色別対抗リレーも、選手たちの気迫を感じ、各色とも素晴らしい走りを見せてくれました。一人一人が頑張り、協力、団結できた運動会となりました。

温かい御声援や御協力をいただいた、御来賓、保護者、地域の皆様、ありがとうございました。